

褐色電融アルミナ (Brown Fused Alumina, BFA)

作成日 2024/11/25
改訂日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名	褐色電融アルミナ (Brown Fused Alumina, BFA)
会社名	
所在地	
担当者名	商品お問合せ窓口
電話番号	+86-17803859504
FAX番号	+86-17803859504
緊急連絡先	所在地と同じ
推奨用途	研磨材、重填
使用上の制限	推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家/化学物質専門家等の判断を仰ぐこと。
整理番号	M241127

2. 危険有害性の要約 化学品のGHS分類

健康有害性	発がん性 区分2 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3(気道刺激性) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1(肺) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(呼吸器) 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。
-------	---

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険有害性情報

危険
H335 呼吸器への刺激のおそれ
H351 発がんのおそれの疑い
H372 長期にわたる、又は反復ばく露による肺の障害

H373 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器の障害のおそれ

注意書き 安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。(P260)
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。(P271)

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)

応急措置

吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。(P308+P313)

気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。(P314)

保管

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。(P403+P233)

廃棄

施錠して保管すること。(P405)

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
酸化アルミニウム	94.0%以上	Al ₂ O ₃	(1)-23	既存	1344-28-1
二酸化チタン	1.5～4.0%	TiO ₂	(1)-558,(5)-5225	既存	13463-67-7

4. 応急措置

下記の応急措置を施すとともに、直ちに医師に連絡を取りその指示に従う。

吸入した場合

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

汚染された衣類を脱ぐこと。
皮膚を速やかに洗浄すること。
汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

眼に入った場合

目を擦ったり、固く閉じたりせず、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

水でよく口の中を洗浄する。可能であれば指を喉に差し込んで吐き出させ直ちに医療処置を受ける手配をすること。

予想される急性症状
及び遅発性症状

情報なし。

最も重要な兆候及び症状

咳、肺機能への障害。

応急措置をする者の保護

救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。

医師に対する特別注意事項

情報なし。

5. 火災時の措置

消火剤

特に限定されない。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の消火方法

特になし。

特定の消火方法

危険でなければ、火災区域から移動させ、周辺に散水し冷却する。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、適切な呼吸用保護具を含め、適切な化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項

漏出物が河川、水路等公共水路に流れ込むのを防止する。

除去方法

回収

漏出物を掃き集めて密閉できる空容器に回収する。

廃棄

回収した漏出物は「13.廃棄上の注意」に従って廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い保護具を着用する。

局所排気・全体換気

「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。

安全取扱い注意事項

適切な保護具(保護手袋、安全眼鏡、長袖の着衣等)を着用して扱う。
飛散物対策(粉じん吸入防止、安全眼鏡等による目の保護)を行う。
取扱い後は、手洗い、洗眼を十分行う。

保管

安全な保管条件

吸湿を避ける為に梱包箱に入れ、高温高湿を避け屋内保管する事。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
酸化アルミニウム	未設定	【粉塵許容濃度】(第1種粉塵) 吸入性粉塵 0.5mg/m ³ 総粉塵 2mg/m ³	設定あり
二酸化チタン	未設定	0.3mg/m ³ ;総粉塵 2mg/m ³ 吸入性粉塵 1.5mg/m ³	設定あり

厚生労働大臣が定める濃度の基準		
	8時間濃度基準値	短時間濃度基準値／天井値
酸化アルミニウム	未設定	未設定
二酸化チタン	未設定	未設定

許容濃度 (ACGIH) 参照先: <https://www.acgih.org/>

設備対策		局所排気装置を設置する。
保護具 (製品使用時)	呼吸器の保護具	粉じんマスクを着用すること。
	手の保護具	保護手袋を着用すること。
	眼の保護具	保護眼鏡を着用すること。
	皮膚及び身体の保護具	帯電防止性能を有する保護衣 (長袖) 及び安全靴等の保護具を推奨する。
衛生対策		この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	固体
形状	微粉末
色	褐色
臭い	無臭
融点／凝固点	2050℃
沸点又は初留点及び沸点範囲	2980℃
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界 下限／可燃限界	データなし
	上限
引火点	データなし
自然発火点	引火せず
分解温度	不燃性
pH	データなし
動粘性率	適用外
溶解度	データなし
n-オクタノール／水分配係数	分散 (不溶性)
	データなし
蒸気圧	0.073Pa
密度及び／又は相対密度	3.97
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	安定
危険有害反応可能性	なし
避けるべき条件	なし
混触危険物質	なし
危険有害な分解生成物	なし

11. 有害性情報

急性毒性	経口	急性毒性推定値が5000mg/kgのため区分5とした。 JIS Z 7252に採用されていないため区分5から区分に該当しないに変更。
	経皮	急性毒性推定値が5000mg/kg超のため区分に該当しないとした。

	吸入	毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。 (気体) GHS定義による気体ではない。 (蒸気) データ不足のため分類できない。 (粉じん・ミスト) 急性毒性推定値が12.5mg/l超のため区分に該当しないとした。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
	皮膚腐食性／皮膚刺激性	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
	呼吸器感作性	毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
	皮膚感作性	データ不足のため分類できない。 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
	生殖細胞変異原性	毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
	発がん性	データ不足のため分類できない。
	生殖毒性	区分2の成分が4%のため、区分2とした。 (生殖毒性) データ不足のため分類できない。 (生殖毒性・授乳影響) データ不足のため分類できない。
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分3(気道刺激性)の成分合計が96%のため、区分3(気道刺激性)とした。
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1(肺)の成分が96%のため、区分1(肺)とした。 区分1(呼吸器)の成分が4%のため、区分2(呼吸器)とした。
	誤えん有害性	動粘性率が不明のため、分類できないとした。
12. 環境影響情報		
	水生環境有害性 短期(急性)	(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
	水生環境有害性 長期(慢性)	(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
	生態毒性	データなし
	残留性・分解性	データなし
	生体蓄積性	データなし
	土壤中の移動性	データなし
	オゾン層への有害性	データ不足のため分類できない。
13. 廃棄上の注意		

残余廃棄物 廃棄においては、関係法令並びに地方自治体の基準に従うこと。

汚染容器及び包装 梱包容器は洗浄してリサイクルするか、関連法令並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意 国際規制

海上規制情報 非危険物

航空規制情報 非危険物

国内規制

陸上規制情報 規制なし

海上規制情報 非危険物

航空規制情報 非危険物

特別の安全対策 乱暴な取扱いを避ける。 梱包容器が破損、水濡れ、異物混入、汚損及び破損しないような輸送方法を取る。

15. 適用法令 労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号～第2号別表第9)

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第1項、施行令第18条の2第1号～第2号別表第9)

酸化チタン(IV)(政令番号:191)(5%未満)(営業秘密)

毒物及び劇物取締法
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

非該当

非該当

消防法
水質汚濁防止法
海洋汚染防止法
外国為替及び外国貿易法
水道法

非危険物
指定物質(法第2条第4項、施行令第3条の3)
有害液体物質(Z類物質)(施行令別表第1)
輸出貨貿易管理令別表第1の16の項
有害物質(法第4条第2項)、水質基準(平15省令101号)

じん肺法

法第2条、施行規則第2条別表粉じん作業

16. その他の情報 参考文献

製造元メーカー提供資料
NITE GHS分類結果一覧
JIS Z 7252 GHSに基づく化学物質等の分類方法
JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)

経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス
日本ケミカルデータベース(株)SDS作成システム「ezSDS」により作成。

褐色電融アルミナ (Brown Fused Alumina, BFA)

その他

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、含有量、物理・化学的性質、危険有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。あくまでも参考情報として提供するものであります。また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものですので、特殊な手扱いをする場合は、用途・用法に適した安全策を実施の上、ご利用ください。この情報は、新しい情報を入手した場合、予告なしに改訂されることがあります。